



「百人一首大会」

【用語解説】

- ・毎年2月に1年生が参加して体育館で行われるかるた会。
- ・1969(昭和44)年1月18日に初めて国語科が企画。
- ・トーナメント形式でのグループ別クラス対抗戦。
- ・目的①古典に慣れ親しむこと
- ・目的②ホームルーム意識の高揚
- ・目的③クラス相互の親睦
- ・当初は現在と違って個人戦のみでクラス対抗戦はなかった。
- ・個人戦の優勝者は「かるたクイーン」と言われていた。

今週のクイズ

Q 久喜高で最も古く始まった行事はどれか？

- A 運動会(体育祭) B 文化祭 C 観桜会 D バレーボール大会

【先週の答え】

- C 旧5,000円札の肖像画で有名な「武士道」の著者も「知恩」のタイトルで講演した。

百周年記念式典まで あと 37週間